

提出 順番	No. 7	令和 7 年 2 月 28 日 午前・午後 3 時 54 分受領
----------	----------	-------------------------------------

令和 7 年 2 月 28 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 荒 貴賀



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 上下水道施設の適切な維持管理について	本年 1 月 28 日に発生した埼玉県八潮市の道路陥没事故は、老朽化するインフラの深刻な課題を浮き彫りにしたもので、住民への影響は甚大であります。 原因は、地下に敷設された下水道の劣化が、陥没に影響した可能性があるとして、全国では、下水道に起因する道路陥没が、2022年度に約 2,600 件起きていると報じられています。 また、下水道管の標準耐用年数は 50 年とされ、下水道法施行令では、腐食のおそれ大きい箇所は 5 年に 1 回以上の適切な頻度で点検を行うことと規定されていますが、八潮市の下水道管は、2021 年度の点検では「直ちに工事は必要ない」と判定されたとの報道もあり、点検の期間・方法の見直しを含め、老朽インフラへの対策は急務であります。 しかしながら、総務省が実施しました地方公営企業決算状況調査においては、水道の職員数は平成 19 年に約 5 万 5 千人いましたが、令和 4 年には約 4 万 3 千人にまで減っており、現場では、職員や予算の問題から補修や点検、更新に限られるほか、水道管の耐震化も課題となるものと考えられるところであります。 水道事業は町民がいつでも安心して水が利用でき、一日とて欠かすことのできない大切な事業でありますことから、上下水道の維持管理について、以下の点を伺います。

2 スフィア基準に基づく避難所の運営について	(1) 上下水道管の老朽化の現状は。また、更新状況と今後の管理・点検は。 (2) 耐震化の進捗状況は。 (3) 幕別町水道事業経営戦略では、組織の見通しにおいて、令和6年度職員の削減を想定していますが、現状は。 内閣府は、令和6年12月に「避難所運営等避難生活支援のためのガイドライン」、「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」及び「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」を改定し、避難所における質の向上の実現を図るため、初めて「スフィア基準」が明記されましたが、この基準に基づく避難所運営を行う考えは。
-------------------------------	---

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。